

Q 4 : 雨天時にテント内など密になる場合にはどのようにしたらよいでしょうか？

A : 雨天時でも社会距離（2 m、最低1 m）の距離を保ち、密になる状況をつくらないようにしてください。気温も低くなることも考えられ、また、激しい運動をすることで体の抵抗力も下がり、風邪をひきやすい状況となります。低年齢層など種別によっては中止の判断をすることも事前に検討してください。

Q 5 : 更衣室に一度に入れる人数や、滞在時間を決める基準はありますか？

A : 更衣室の広さにもよりますが、チェックリストにあるように「着替えを素早く済ませる」ことや、「更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする」「更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする」「更衣が終了したらすぐに更衣室をでる」ことが大切です。三密を防ぐ視点は同じです。

Q 6 : 除菌シートはアルコールの代用になりますか？

A : 一般的な除菌シートは細菌の除菌用ですので代用となりません。
厚生労働省の資料で事前に確認してください。

尚、「医薬品・医薬部外品」の「消毒剤」であっても、それ以外の「除菌剤」であっても、全ての菌やウイルスに効果があるわけではなく、新型コロナウイルスに有効な製品は一部であることに注意が必要です。

→ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

厚生労働省のHPより転載（2020年8月11日現在）

2, 大会の運営・レギュレーションについて

Q 1 : 大会のレギュレーションを変更してもかまいませんか？

A : 参加チームの同意があればかまいません。試合時間、飲水タイム、選手交代数、自由な交代など、安全に対する配慮を優先することで、柔軟な対応が必要になることが考えられます。また、大会出場チームに感染者が出てゲームが成立しなかった場合の対応や荒天でリーグ戦の日程消化できなかったなども事前に合意しておくといでしょう。（できれば開催前や監督会議にて話し合うべきですが、安全を最優先した結果、当日の変更もありうると思います）

Q 2 : 審判員1人が来られない場合は、3人で審判を行うことでよろしいか？（4 t hは運営の方に手伝ってもらうなど）

A : 大会規模によると思いますが、育成年代のゲームであれば、一人審判でも可能と考えます。大会実行委員会や管轄の審判委員会などあらかじめ関係者で対応を協議しておくといでしょう。

（対応例）

- ・一人審判で実施する
- ・両チーム合意の元、資格（級）を満たしていない審判の担当を認める

- ・ 4 t hを両チームから出すなど対応する
- ・ (本来であれば無資格の審判は担当できませんが) 両チーム合意の元無資格者による審判を認め、その旨審判報告書に記載する
- ・ 試合を中止する

Q 3 : 対策を講じて大会を開催する中で、大会途中に発熱等体調不良の選手・スタッフが1名または複数名発生した場合には、大会を途中で打ち切るなどの判断が必要ですか？

A : まず、事前に提出する健康チェックで体調の悪い人が会場にいないことが大前提となっています。体調不良の選手スタッフが複数名発生した場合には、熱中症や食中毒など新型コロナウイルス感染症以外の原因も考えられます。大会関係者で検討して大会を継続するか打ち切るかの判断をしてください。

Q 4 : 感染不安による出場辞退チームが複数出た場合には、大会実施の可否はどのようにしたら良いでしょうか？

A : 新型コロナウイルス感染症に関して、治療薬や予防のためのワクチンが確立していない現状で不安に感じている選手、保護者などがあることは仕方のないことです。大会途中から出場辞退チームが出ることを想定して、主催者側であらかじめ対応を決めておくとういでしょう。育成年代のリーグ戦の扱いに関しては、各ユースダイレクターに相談の上決定してください。

Q 5 : 上位大会への出場権を得たチームが、新型コロナウイルス感染の心配のため大会出場を辞退したいとの申し出があった場合には、どのような扱いになりますか？

A : この感染症の性格上やむを得ないことと思いますので、あらかじめそのような時にはどのように対応するかを、大会実施前に検討しておき、参加チームの共通理解を得ておくべきと考えます。

Q 6 : 組み合わせが決まった後、新型コロナウイルス感染の心配のため大会出場を辞退したいとの申し出があった場合には、どのような扱いになりますか？

A : 上記と同様に考えます。ただし、参加申し込みはすんでいるので、参加料の返金はありません。

Q 7 : 自治体によってスポーツ活動の人数制限を設けているところもあります。来場者の人数制限を設ける必要がありますか？

A : 自治体や市町村教育委員会で制限がある場合には、その指示、指導に従ってください。また、施設に来場者名簿の記載を求められる場合もありますので、各施設の指示に従ってください。

* 1, 0 0 0人を超える参加者(観客を含む)来場者が見込まれる場合には、事前に関係部署との調整が必要ですので、北海道サッカー協会を通して相談を行ってください。

Q 8 : 大会終了後の報告は必要ですか？

A : 特に問題点がなければ不要です。課題が見つかった場合には、北海道サッカー協会事務局にメール等で報告・相談をしてください。ただし、参加者の中に、感染者が出た場合には、保健所の求めに応じて健康チェックシートを提出することがありますので、4週間の保管を確実に行ってください。(4週間過ぎたら破棄)

3, チェックリスト&健康チェックシートについて

Q 1 : チーム用チェックリストは提出が必要ですか？

A : 大会時に提出する必要はありません。北海道サッカー協会が定めるチェックリストに基づき、日常の選手への指導や自主点検など確認を行ってください。
また、感染対策担当者ミーティングでチェックリストをもとに再確認などを行ってください。

- チーム・指導者・チーム運営用
- 競技会運営用
- 講習会運営用
- 審判員・審判指導者運営用
- 施設管理用

Q 2 : 健康チェックシートを忘れた場合には参加できないのですか？

A : 自身の健康状態を証明できない場合には基本的には参加できません。ただし、学校などで毎日チェックを確実にして、そのことを具体的に証明できる場合や、土日の連戦で、前日のチェックで証明できる場合にはその限りではありませんが、会場にて検温をしてください。(未成年の場合には保護者の参加承諾が必要です)
健康チェックシートは、選手、チーム役員、審判員、大会役員すべてに提出してもらう必要があります。(観客は不要です)

Q 3 : メディア関係者に対しても健康チェックシートを大会当日に提出してもらう事になりますが、14日前からの体温管理の周知は、各メディアに対して北海道協会から事前に周知することで良かったでしょうか？

A : 担当の委員長と連携してそのようにお願いいたします。

Q 4 : 大会実施の際に提出する健康チェックシートは、地域の実情に合わせて地区協会や各委員会で独自に作成してもいいですか？

A : 北海道サッカー協会が作成する健康チェックシートと同様の内容が全て網羅されていれば可能です。(健康チェックシートの変更があった場合には注意してください)
また、高校生以下の参加に関しては、保護者の同意が不可欠です。
土日連戦が行われる場合にも、両日ともチェック表を提出してもらうことを基本とします。ただし、土曜日に提出したチェック表に日曜日の体温を記入することで1

枚に集約することは可能ですが、体調不良がないことの確認はチームの感染対策担当者が、一人ずつ行い提出してください。

*北海道サッカー協会作成の旧バージョンでの提出も可とします

Q 5 : 感染者がみられない地域でも、健康チェックシートの提出は必要ですか？

A : 必ず提出する必要があります。

新型コロナウイルス感染症は、感染してから発症するまでに1～14日（平均5日程度）とのデータがあります。現在、感染者がみられない地域だからといって安心と言い切れるわけではありません。また、万が一感染者が出た場合に、保健所からの求めがあれば健康チェックシートを提供することになりますので、必ず提出させていただきます。

Q 6 : 現地での検温、体温チェックを行い問題がなければ、競技参加の許可を出すことは可能ですか？

A : 上記同様の理由から、過去2週間以内の検温がされていない方の参加はお断りします。大会役員、審判員も同様に毎日の検温をお願い致します。

Q 7 : 何度の発熱があれば試合に出られないのですか？

A : 参加者には大会前2週間の起床時体温を記載した健康チェックシートの提出していただきます。起床時体温は一日の中で最も低い体温となりますが、個人の起床時の平均体温を知ることで健康状態の判断の目安となります。日中は活動とともに体温がある程度上がりますが、当日の健康状態をもとに各チームで判断してもらいます。ただし、発熱がある状況で参加することは、自他共にすべての参加者を危険にさらすこととなりますので絶対に避けてください。

以下の方はどんな事情があっても参加できません

①一日の間で37.5度以上の熱があった方

※37.5度未満だから参加してもいいという意味ではありませんが平熱が低い方では、37.5度未満でも平熱より1度以上高い場合などには控えるべきです。ただし、37.5度以上は、原因は関係なく出場しない、会場に来ないを徹底するべきです。（会場で非接触型体温計で計測した際に37.5度以上の熱があった方も同様です）

②健康チェックシートに偽りの記載があった方（偽りが判明した場合には社会的責任を伴うことがあります。体温を測り忘れた日は斜線を引いてください。）

③発熱がなくても、健康チェックシートで風邪の症状のチェック項目がある方

*ただし、13～14日前に一度発熱があった場合などは、各ケースで判断し、認められる場合もあります（感染対策担当ミーティングでの合意のもと）

(例)

○8月2日（日）の試合後に発熱があったが、それ以降風邪の症状や発熱がなく経過し、次の試合が8月15日（土）で13日しか経過していない等のケース

○期間中の37.5度未満の発熱で、かつ医師の判断で新型コロナの疑いがないと診断された場合

○大会直前に行ったPCR検査で陰性だった場合

Q 8 : インフルエンザの際には、「学級閉鎖ならそのクラスの選手、学年閉鎖ならその学年の選手は出られない…」ということだったと思いますがいかがですか？

A : 新型コロナウイルス感染症のみならず、インフルエンザにおいても、学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖、職場閉鎖している方は、当然のこととして参加できません。また、感染者が出て、保健所の濃厚接触者の調査結果が出ていない状況のチームや選手、役員、審判員も参加できません。（他のチームや選手を不安にさせないことが求められます）

Q 9 : 健康チェックシートの提出を以て、大会への参加を認めることとなるが、14日前からの起床時体温について、記載のない日があった場合の参加可否の判断について、一定の基準を設けなくても良いものでしょうか。その判断を現場に委ねた場合、同一の健康チェックリストであっても、ある会場では認められ、違う会場では認められないなどのトラブルが発生する可能性があるのではないのでしょうか。

A : 各会場がある自治体の判断が異なりますし、感染状況や警戒レベル、対象年齢や種別によっても判断が異なることが当然予想されます。それを理解の上参加していただくことが原則となります。トラブルが心配される場合には、大会前の監督会議で趣旨を理解したうえで参加するよう参加チームの共通理解を図ってください。

Q 10 : 大会役員や審判員、指導者を掛け持つ場合の健康チェックシートの扱いは？

A : 運営、選手、役員、審判が重なる場合には、会場に入ったときに最初に担当する部署で提出してください。（1枚でOK）感染対策担当者ミーティングの際には提出済みであることを伝えてください。また、マネージャーなど、ベンチ側に来られる方もチーム関係者としての提出が必要です。

4, 試合当日について

(1) 試合外で

Q 1 : 試合当日に気をつけることはどのようなことでしょうか？

A : チェックリストを参考にしてください。具体的には、試合会場への移動の交通手段、会場に到着してから活動が始まるまでの集合状況、更衣室での環境、試合を待っている間、コーチの指示を聞いているとき、ベンチの中、試合終了後会場から帰宅するまでの間など、特にサッカーの活動場面以外でも社会的距離（2m、最低1m）に気をつけてください。特に、指導者の配慮や指示が重要となります。

Q 2 : 試合後のベンチの消毒は必要ですか？

A : 大会の感染対策担当者の指示に従ってください。ゴミなどは、個人での持ち帰りを徹底してください。飲み残しをグラウンドに捨てるのもやめましょう。

(2) 試合中に

Q1：ハーフタイムが短く、うがいや手洗いの時間が十分でないときはどうしますか？

A：ハーフタイムを伸ばしてください。日程的に難しい場合には、試合時間を短くすることも検討してください。アルコールによる手の消毒で対応してもかまいません。うがいについては、水飲み場が十分でない場合には実施しなくても良いです。
(グラウンド内外で吐き出さない)

Q2：ベンチ内でのビブスの着用は？

A：個人が身につけた用具の使い回しは避けるべきです。ベンチ内でのビブスも個人に事前に割り当てるなどし、使い回さないようにしましょう。また、大会では、事前に監督同士が話し合う中で、ユニフォームの調整を行うことで、時間短縮を図ることができますので、今シーズンに限り導入を検討するなど工夫してください。

Q3：審判に質問があるときはどうしたらよいでしょうか？

A：2 m以内に近寄ることは、審判を危険にさらす行為ですので、絶対に行うべきではありません。十分に距離をとって質問してください。指導者はテクニカルエリア内で副審が近づいた時に十分な距離を確保するために、今年度の大会共通のルールとして、テクニカルエリアをあらかじめ設置できる会場では、タッチラインから3 m下げて設置するなど検討してください。また、かっとなって相手選手に詰め寄る行為や近くで大声を出すような行為も、相手を危険にさらすことになるので絶対にやめるべきです。
審判員と近くなった場合には、大声を出さないなど審判への配慮が必要です。

Q4：試合中に相手チームの選手より「○番の選手が咳こんでいる」等の発言があった場合、どのように対応することが適切ですか？

A：体調不良の方は参加すべきではありません。相手選手のみならず味方選手や審判員に不安を与え続ける中で競技を続行することは避けるべきです。咳が一時的なものではなく続くようであれば、本人やチームの感染対策担当者が責任を持って、安全が確認されるまで一時的にその選手がピッチから離れるよう促したり、選手交代を検討すべきと考えます。

5, 感染者が出た場合について

Q1：チーム内から感染者が出た時はどのようにしますか？

A：下記の報告フォームを使用し、所属地区サッカー協会へすぐに連絡してください。基本的には、保健所の指示に従って対応することになります。個人情報取り扱いと人権への配慮に十分に留意ください。
また、発症から14日以内に大会へ参加している場合には、大会感染対策担当者や対戦相手と情報を共有する必要があるでしょう。所属地区サッカー協会へ相談してください。

報告フォームについてはこちらとなります

https://drive.google.com/file/d/1asvYJn0wZwJ9rScudIDGgbLAnjgu_bn6/view?usp=sharing

* 審判・指導者・協会、連盟関係者も同様となります



Q 2 : 大会 1 4 日前から当日までの間に大会関係者や出場チーム・選手・スタッフに感染者 (PCR 検査等で陽性の判定された者) または、濃厚接触者 (所轄保健所等で認定された者)、が発生した場合、大会における対応はどのようにするべきですか?

A : 基本的には所轄保健所の指導に従ってください。大会の中止などの判断をする場合もあると思いますので、順位付け、上位大会への代表チームの決定方法などは、大会主催者があらかじめ検討しておき、関係チームの理解を得ておくべきでしょう。

Q 3 感染対策を講じたとしても感染リスクがゼロになることは考えられないため、万が一サッカー活動を通して、感染者が出た場合には、責任問題となることがありますか?

A : 症状出現前から感染力を有するため、感染をゼロにすることは、難しいと考えます。しかし、リスクを低くするため、十分な対策をとる必要があります。それでも感染が生じたとき、感染対策が、社会的にみて不十分と判断されると、責任を問われる場合があると考えられます。感染の状況、対策の方法など、情報をしっかり集めて適切な対応を工夫していくようにして下さい。

Q 4 : 大会において新型コロナウイルス感染者は発生した場合の会場施設消毒について各種大会において、参加者が後日、新型コロナウイルス感染が判明した場合、会場施設の消毒が必要となる場合の負担はどのようになりますか。

A : 消毒の必要性については、保健所からの指導をもとに判断し施設管理者が実施します。施設管理者より相談があった場合には、北海道サッカー協会へ相談ください。

6, その他

Q 1 : 大会開催に当たり安全にサッカーを行うための工夫例を教えてください

A : 治療薬やワクチンの開発などが進み、この感染症の流行を抑えることが可能になるまで、今まで行っていたことが同様にできないという状況を踏まえて可能な限りの感染対策を実施した上で参加することが重要です。

【工夫例】

- ①大会に連れていくメンバーは必要最小限の人員にしましょう
- ②セカンドチームやサードチームのゲームを充実させましょう

- ③試合前は早くに集まらない、試合後にはすぐに帰るようにして、会場にいる人の数を減らすなど、健康に留意する体制を検討しましょう
- ④保護者や控え選手などの応援人数を制限するなど、会場内の三密を避けるようチーム内でも事前に検討をしましょう

[例]

- 本部側は控え選手と関係者のみとしましょう
 - スタンドがないグラウンドでは、タッチライン側で社会的距離（2 m、最低1 m）をあけて応援（観戦）できる数になるよう保護者などに協力を依頼しましょう
 - ゴール裏や練習場は次チームなど、会場が密にならないルール作りを事前に検討しましょう
- ⑤他人の物に触れないのが原則ですので、自分の物は自分で準備・片付けを行うよう徹底しましょう
 - ⑥たくさんのチームが集まるセントラル方式から、1会場2チーム（多くても4チーム）のホーム&アウェー方式でできるだけ行うよう検討しましょう
 - ⑦運営スタッフの配置も、午前と午後で入れ替えたり、十分な休息時間を取り入れるなど工夫し、疲労が蓄積しないよう工夫しましょう
 - ⑧試合開始前後のセレモニーを省略するなど運営方法を事前に検討しましょう
 - ⑨サッカーは激しい活動ですので、実施後の十分な栄養・休養・睡眠などを日常から心がけましょう

Q 2 : 大会における観客対応について自治体によってスポーツ活動の人数制限を設けているところもあります。来場者の人数制限を設ける必要がありますか？

A : 自治体や市町村教育委員会で制限がある場合には、その指示、指導に従ってください。

Q 3 : 観客に対しても来場者名簿を作成して、氏名・連絡先を抑えておく対応が必要となりますか？

A : できるならそれが望ましいと思いますが、現状は難しいと思います。

ただし、施設に定めがある場合、開催地域の感染状況が悪化した場合には、各自治体が人数制限や、住民以外の利用者の制限を設けることも考えられます。現状の段階では決めつけることなく、会場や自治体、振興局の情報を把握した上で対応してください。

また、「北海道コロナ通知システム」を可能であれば利用することで、来場者への情報提供が可能になりますので、大会主催者は導入の検討をお願い致します。